

## 感震ブレーカー、自動点灯ライト 無料配布を始めています

○対象 65歳以上のみ世帯で世帯全員非課税障害手帳または要介護4以上の方がいる世帯  
申込み用紙に記入して申し込み下さい。  
本人確認の書類(顔写真入りの場合は一点・顔写真ない場合は2点)が必要です。  
郵送の申込みも受け付けます。



問い合わせ  
荒川区防災課事業部  
3802・3111  
内線418

白色の食品用トレイに加えて平成30年7月から  
**有色トレイの回収**  
が始まりました!

回収できるトレイ  
無色透明の白色の食品用トレイ + 有色の食品用トレイ  
※裏面に緑色の「リサイクル」マークと「PS」と表示しているトレイが回収できます!

回収できないもの  
※必ずお気を付けください!

7月からは有色トレイの回収を始めました!

日本共産党区議団  
**小島和男**



区政ニュース

2018・7  
NO 905

発行

荒川区荒川2-1-3区役所内・5階控室  
3802・4627  
〒124-8502 arajcp@tcn-catv.ne.jp  
事務所 東日暮里三・十八・四  
電話 三・八九一・八八八四  
FAX 三・八九一・八八八四  
住宅 東日暮里六・二十一・五  
電話 三・八〇六・九五五二



## 法律相談会

8月の相談会はお休みします

弁護士へのご相談は小島事務所に  
ご連絡下さい!

<連絡先>  
小島和男事務所  
3891・8884  
小島和男携帯電話  
090・4361・9202

## 賭博容認のカジノ 法案は廃案にしよう



カジノ法案が審議されています。賭博は刑法で禁止なのにアメリカのカジノ資本から自民、維新などに脱法献金が行われ、公明は、カジノ解禁法案の際には賛否が分かれましたが今回は全員賛成です。

しかも日本人から巻き上げた儲けの7割はカジノ資本の儲けです。日本はパチンコ依存症が536万人とギャンブル依存大国であり、さらに深刻な事態を招きます。世論調査で7割が法案に反対しています。  
カジノ法案は廃案にしましょう。

カジノ法案は廃案にしましょう。

## 区内のJR各駅のホームドアの設置をJRに働きかけよう求めました

JR日暮里駅、西日暮里駅は、一日の乗降客がそれぞれ110,529人、110,276人と利用者が多く、荒川区民も多く利用しています。京浜東北線の上り・下りホームにはホームドア設置されておらず、オリンピック後になるようです。京浜東北線は駅を速い速度で通過するのでホームから転落する死亡事故が繰り返されています。こうした事故を繰り返さないようにするために、区内のJR各駅にホームドアを設置を区としてJRに働きかけよう求めました。

区は、西日暮里駅はオリンピック開催までに、日暮里駅はオリンピック後に設置。その他は計画なしと答弁しました。



## 連日35度超える酷暑 熱中症にご注意下さい

7月18日には、多治見市で40度を記録。東京では日中35度、夜間は、25度を超える日が続いています。  
9日～15日まで熱中症で病院に搬送された方は、東京で704人、荒川区で5人(7月分)となっています。  
のどが渇いてない場合でも水分・塩分をこまめに補給。夜間も暑いので冷房を止めない。意識障害やけいれんなどの重い症状が続く場合は、救急車を呼ぶことなど対策が必要です。



学校側に喫煙所の撤去を求めましたが、学生以外の利用をしないようにしたとの回答に留まっています。  
東京都の喫煙禁止条



東日暮里6丁目の日本語学校赤門会の玄関前の広場に喫煙所が置かれ、学生などが利用していましたが、七五三通りに接しており通行人は、受動喫煙になると撤去を求める声が出されています。  
学校側に喫煙所の撤去を求めましたが、学生以外の利用をしないようにしたとの回答に留まっています。

例では、屋内施設は喫煙禁止、敷地内でも幼稚園、小中学校などは禁止です。日本語学校は対象ではありませんが、都の条例を十分に理解して、道路の通行人に受動喫煙の被害が出る吸殻入れは撤去すべきです。

## 日本語学校赤門会 玄関前の喫煙所の撤去を

# 深刻な被害が広がる西日本豪雨災害 被災者の皆さんにお見舞い申し上げます



西日本を襲った記録的豪雨被害は、17日までに、13府県で211人が死亡、20人が行方不明、断水被害は21万戸となっています。

深刻な被害が広がる被災者の皆さんにお見舞い申し上げます。

地域によっては、7時間に1000ミリの記録的大雨が降り、川が氾濫して自宅の2階まで水に浸かる被害も出ています。

とくに岡山県真備町では、1200ヘクタールが浸水し被害が広がっています。

地球温暖化の影響で台風の巨大化や、停滞

する前線などでこれまで考えられない短時間に大雨が降り、被害が広がっています。

自治体の対応の遅れが被害を広げる結果を作り出しています。

豪雨が始まった5日の夜に、自民赤坂亭と国会議員会館で国会議員50人に安倍首相も加わり宴会を行っていたことは問題です。

国と自治体ともに水害対策の抜本的な強化が求められています。

なお7月13日(金)の夕方、日暮里駅で西日本豪雨被災者救援募金に取組み12,365円が集まりました。

## 荒川区として水害対策の強化を

2016年8月のハザードマップでは、荒川流域で72時間、632mmの雨が降り荒川の堤防が決壊することを想定していますが、7時間で1000mmの豪雨が降るようなことは想定していません。

荒川区として短時間で記録的な大雨による被害の想定を行って、早めの避難指示を呼びかけること。区内の電柱などに海拔の表示を行って住民に注意喚起をすること。豪雨で防災無線が聞こえなかったことから防災ラジオを導入することなど、水害対策を抜本的に強化すべきです。



## 国保料の値上げに 問合せ・苦情が1,549件

今年度も国保料値上げが行われました。すでに今年度の国保料の請求書が各家庭に届いていますが、区役所の窓口には、問い合わせや苦情など1,549件(6月19日~30日)が寄せられました。

このうち、保険料が高いとの苦情は519件です。昨年より値上げ幅が少ないことから苦情は減っていますが、収入が毎年減り続ける多くの区民にとって、国保料値上げの区民生活への影響も少なくありません。

来年度以降も国保料の値上げは予定されていますが、区民のくらしの実態に目を向けて値上げは中止すべきです。



## 日暮里地域活性化施設建設 工事の入札不調で開館に遅れ

日暮里地域活性化施設は、2019年9月開設予定でしたが、地元の要望を入れるために入札時には12月開設としましたが、入札が不調となりました。

6月議会の補正予算に、見積もり額の引き上げや参加要件である地元企業とのJV(区内業者育成のために力ある企業と組んでの工事)をやめて単独での

入札を認めることなどで改めて入札が行われることになりました。

その結果、日暮里活性化施設の開設は、さらに4か月遅れて2020年4月に開設となります。



## 西日暮里駅前地区再開発 住宅過剰が予想されるなか 住宅1000戸の再開発見直しを

オリンピックに向けて、東京駅周辺の三か所で三菱地所の容積率2200%、高さ390mの常磐橋再開発など住宅中心の面積354ha、総事業費は3兆円規模の再開発ビル建設が進んでいます。

2020年度から生産人口減少、25年から団塊の世代が後期高齢者化すると不動産市場の過剰が強まり住宅価格が下落し、住宅バブル崩壊が危惧されています。住宅需要に関係なく資金を集める不動産の証券化で、巨大再開発に投資すれば大きな利益になるために再開発が止められません。

西日暮里駅前再開発でも大手のデベロッパーが当面の儲けを確保するために、容積率を950%に引き上げた超高層ビルに1000戸の住宅などを作る計画です。

西日暮里駅前再開発地区は、区内には防災総合危険度が「2」と低く防災対策として再開発の必要性は少ないのです。

一方で「5」が14丁目、「4」は16丁目と多く、木造密集地域の防災対策の強化が必要ですが、不燃化特区の予算は年間9億円と少ないのに、西日暮里駅前地区は150億円の巨額な税金が投入される予定です。

住宅過剰が想定されるなかで、住宅中心の西日暮里駅前地区再開発は見直しして震災に強い街づくりを推進すべきです。

